



栃木県公報

平成23年
9月6日(火)
号外
第83号

目次

公 告

○栃木県民栄誉賞の受賞者の功績..... 1

公 告

○栃木県民栄誉賞の受賞者の功績

栃木県民栄誉賞規則（平成13年栃木県規則第82号）に基づき、下記の者に栃木県民栄誉賞を授与したので、同規則第3条第2項の規定によりその功績を公示する。

平成23年9月6日

栃木県知事 福田 富一

安藤 梢氏（29歳）

昭和57年7月9日、栃木県宇都宮市生まれ。女子サッカー選手。小学校6年生で所属していた「宇都宮JFCジュベニール」の一員として全国少女サッカー大会で優勝し、大会MVPを獲得した。中学校時代は、宇都宮市立陽北中学校サッカー部でプレーし、卒業後は、栃木県立宇都宮女子高等学校に進学。高校2年生で、第3回FIFA女子世界選手権アメリカ大会において日本女子代表（A代表）デビューを果たした。高校卒業後は、筑波大学に進学。平成14年には、「さいたまレイナスFC」に入団。中心選手として活躍し、その年のL・リーグ新人王を獲得した。平成18年には、「浦和レッドダイヤモンズレディース」とプロ契約。平成21年12月に、ドイツ女子ブンデスリーガ1部の「FCR2001デュイスブルク」へ移籍した。

L・リーグ及びなでしこリーグにおいては、優勝2回、ベストイレブン6回、得点王2回、MVP2回獲得。また、平成16年にはアテネ五輪に、平成20年には北京五輪に日本女子代表として出場し、いずれもベスト8以上の成績を収め、栃木県知事特別表彰を受賞している。

自身3度目のワールドカップ出場となった今回のFIFA女子ワールドカップドイツ2011においては、予選リーグから決勝までの全6試合に出場し、豊富な運動量で度々相手ゴールに迫り得点に絡む活躍を見せ、日本女子代表チームの優勝に大きく貢献した。本大会における優勝チームの主力メンバーとしての氏の輝かしい活躍は、広く県民に明るい希望と活力を与えたと認められることから、この功績をたたえ県民栄誉賞を授与した。

鮫島 彩氏（24歳）

昭和62年6月16日、栃木県宇都宮市（旧河内町）生まれ。女子サッカー選手。小・中学生時代に所属していた「河内SCジュベニール」では、全国少年少女草サッカー大会（女子の部）の第10回大会で優勝。第12回大会及び第13回大会も連続優勝し、自らも2大会連続優秀選手に輝いた。河内町立田原中学校卒業後は、女子サッカーの名門校である常盤木学園高等学校に進学し、全日本高等学校女子サッカー選手権大会では3年連続準優勝になり、中心選手として活躍した。高校卒業後は、「東京電力女子サッカー部マリーゼ」に入団しレギュラーに定着。平成20年には、日本女子代表「なでしこジャパン」に初選出され、持ち前の突破力を買われてミッドフィルダーから左サイドバックにコンバートされ、スピードに乗った高速ドリブルを持ち味として活躍してきた。平成23年3月に発生した東日本大震災の影響で所属チームが活動を自粛する中、思い悩んだ末にサッカーを続けることを決意し、アメリカ女子プロサッカーの「ボストン・ブレイカーズ」へ移籍した。

なでしこリーグにおいては、平成19年にディビジョン2でMVPを、平成22年にサポーターが選ぶMVPを獲得している。

今回、初出場したFIFA女子ワールドカップドイツ2011においては、左サイドバックとして全6試合に出場し、献身的な守りとスピードを生かした攻撃参加で、日本女子代表チームの優勝に大きく貢献した。本大会における優勝チームの主力メンバーとしての氏の輝かしい活躍は、広く県民に明るい希望と活力を与え

たと認められることから、この功績をたたえ県民栄誉賞を授与した。

(人事課)